

全国直売所研究会リモートセミナー ～アフターコロナの直売所を考える～ 第2回「集荷と生産者サービスについて」 7月15日（木）15:00～16:15



司会 山口成美会長

1. 集荷システムと生産者開拓の秘訣 ～農家と二人三脚で発展する直売所「あぜみち」

「みんなの農産直売所あぜみち」は、2003年に直売所を創業、現在直営4店舗、インショップ3店舗、出荷者2300人、売上18億円、という事業に発展した、

自給率の低下、後継者不足に悩む日本の農業を、若者が志すことのできる、元気でカッコいい職業にしたい。農産物を直接お客様に手渡す喜びと共に、自らの直売所の存在意義を明らかにし、邁進してきた。

林社長は、とちぎニュービジネス協議会会長を務め、直売所を運営する株式会社グリーンデイズは、「地域未来牽引企業」(経済産業省)にも選定されている。

今回のセミナーでは、豊富な農産物を提供するための集荷システム、そして生産者開拓の秘訣をお話いただきます。

講師 (株)グリーンデイズ
代表取締役 林 書緯(りん すうえい)先生



2. 高齢化が進む直売所と出荷者サービス

大分県豊後大野市道の駅きよかわの理念に「私たちは、安全安心な「もの」づくりと地場産品の商品化にこだわり、農家農業とともに歩み、元気な地域社会の創出に貢献します。」とある。

これを実現するために、コープおおいたと提携し、買い物に困っている地域住民を対象として、「移動販売車(夢市場フレッシュ便)」を平成25年4月より運行、また、平成29年より「生活支援サービス事業」も開始し、住民及び高齢化した生産者を支援する目的で各戸を巡回し、農産物の集荷や荷造り、商品の配達、家のまわりの草刈りなどを行って。る。

今回のセミナーでは、このような地域貢献をビジネスの中で持続するための仕組みづくりをお話いただきます。

講師 道の駅きよかわ
代表取締役 三浦 俊荘(みうら しゅんそう)先生



次回予告

全国直売所研究会事務局
東京都中野区中野5-33-9
03-5913-2627 090-1117-9192 (青木)

第3回「直売所を取り巻く10年後の環境」
8月19日（木）15:00～16:15